

(理念)

暖もりのある笑顔と

思いやりの心があふれる

和やかなわが家

(基本方針)

- 1 温和で笑顔あふれる施設の実現
- 2 その人らしい充実した生活の支援
- 3 地域との共生による福祉の実現
- 4 人間性豊かな、福祉人材の育成
- 5 活力ある経営の実行

1 経営基盤の安定化

- ① 中長期計画の策定し、職員への周知を図る
 - ・各事業所の稼働率アップに取り組み、増収へと繋いだ
- ② 法人組織の体制整備
 - ・執行理事として専務理事、常務理事を指名及び職務執行状況等の報告
- ③ 人材の確保
 - ・離職率の多い中、各事業所の適性な職員配置を確保することが出来た
- ④ 経費の削減に努めた
 - ・備品、日用品等の購入に見積もりを徴し、品質、単価等を考慮し購入した
- ⑤ 人事異動
 - ・人事異動を施行し、各事業所の活性化を図った
- ⑥ 人事考課制度の導入
 - ・人事考課を施行し、賞与等に反映した
- ⑦ 食事提供について
 - ・シダックスによる食事提供を解消し、調理員を雇用して法人直営で食事提供する
 - 栄養士2名、常勤調理員3名、パート調理員9名で食事提供

2 人材育成

- ① 人事考課制度による職員育成と人材活用
 - ・適材適所の職員配置を実施した
- ② 自己申告等による職場改善意識の向上
 - ・人事異動
 - ・現在の業務内容
 - ・現在の職場について

- ・能力開発について
- ・目標
- ・仕事・職場への意見、提案
- ③ 資格取得のための研修会への参加及び受験費用の法人負担(1回のみ)
 - ・主任介護支援専門員合格 0名
 - ・介護支援専門員合格 1名
 - ・介護福祉士合格 2名
 - ・手話教室の開催
- ④ 研修実施 別紙資料

3 求められる施設づくり

- ① 人材確保の検討を行う
 - ・採用活動の強化
- ② 自己申告等による職員ニーズの把握と職場環境づくりに反映した
- ③ 入居者との信頼関係を築くために施設が提供するサービスに関し、「和か会」「談話会」を毎月開催し、情報提供や入居者から提案、意見、要望を聞き、施設運営に活かし、信頼関係を構築した
- ④ 嗜好調査を実施し、献立に反映させた
- ⑤ 毎月給食委員会を開催し、食事内容・要望等を協議し、献立に反映した
- ⑥ 施設サービスに対するの満足度調査を実施し、サービスの質の向上を図る
- ⑦ 余暇活動の推進と健康維持を図るため、入居者のニーズを把握し、趣味活動レクリエーション等を実施した
- ⑧ インフルエンザ・ノロウイルス、新型コロナウイルス等の感染症防止体制の充実を図る
- ⑩ 法人本部のBCPの作成に伴い、各事業所のBCPを作成した

4 地域との連携を図る

- ① 湖南地区広域総合火災避難訓練の開催はコロナにより中止とし、ケアハウスで訓練
- ② 手話教室を開催し地域住民も参加
- ③ 納涼祭の開催(コロナ感染予防のため中止)
- ④ 地域交流バーベキュー(屋内で利用者のみ)
- ⑤ 法人広報紙「だんのだと」年2回発行し、理事、評議員、地域、関係機関へ送付
- ⑥ 学生の実習受け入れ
- ⑦ こやま包括との連携により地域の社会資源を活用し地域生活を支える
- ⑨ 施設行事等への招待、地域行事等への参加、地域ボランティアの活用、湖南学園との交流を図り、入居者の生活に潤いをもたせた
- ⑩ 「防火設備の定期検査」結果を市へ報告

○役員研修報告（令和5年度）

社会福祉法人だんのさと

日程	研修内容	場所	費用	主催
5月15日	令和5年度老施協 定期総会	湯梨浜はごろも苑	無料	老施協
6月22日	気づきの事例検討会	学習・交流センター	無料	地域包括支援センター
7月4日～	令和5年度介護支援専門員更新研修	オンライン	22,400円	鳥取県社協
7月13日～ 10月18日	令和5年度認知症介護実践者研修	オンライン	20,200円	鳥取県社協
9月21日	第42回全国社会福祉法人経営者大会	神戸ポートピアホテル	30,000円	全国経営協
10月17日	職場で簡単にできるストレスマネジメント研修	本部（オンライン）	無料	老人福祉協議会
10月19日	社会福祉法人会計実務研修会Ⅱ「第2回」	オンライン	2,000円	社会福祉協議会
10月30日	第1回湖東・高草地域包括、圏域研修会	学習・交流センター	無料	鳥取県長寿社会課
11月10日	第33回中国・四国地区社会福祉法人経営者セミナー	とりぎん文化会館	10,000円	経営協
11月14日	対人援助職に効く 心の免疫力を高めるワークショップ	オンライン	無料	県社協
11月17～ 20日	令和5年度小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	オンライン	3,000円	県社協
12月5日	社会福祉法人会計実務研修会Ⅱ（財務分析）	オンライン	2,000円	社会福祉協議会
1月16日	第5回鳥取市地域ケア会議	学習・交流センター	無料	湖東・高草地域包括支援センター
3月6日	令和5年度第3回公正採用選考人権啓発推進員研修会	オンライン	無料	鳥取労働局

○法人内研修・・・ ・苦情解決委員会（9月・3月）

・リスクマネジメント委員会（9月・11月・3月）

○その他・・・BCP研修、介護報酬改定研修

令和 5年度 事業報告

施設名: ケアハウス暖の里(本館)

計画項目	具体的な内容
基本項目	<p>施設の理念</p> <p>暖もりのある笑顔と思いやりの心があふれる和やかなわが家</p>
	<p>施設の基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 温和で笑顔あふれる施設の実現 2 その人らしい充実した生活の支援 3 地域との共生によるふくしの実現 4 人間性豊かな福祉人材の育成 5 活力ある経営の実行
	<p>施設の目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 笑顔と挨拶の徹底を図る。 2 生活環境を創る <ul style="list-style-type: none"> ・「地域社会に開かれた施設づくり」「楽しみ」「くらし」そして「よろこび」「自分の過ごしたい生活」を実現 <p>※ 職種を超えて、全職員協働による生活支援を行う。</p> <p>【コロナ感染症対策をしながら、鳥取福祉専門学校の生徒を2名及び湖南学園職場体験の生徒1名を受け入れました。】</p>
利用者へのサービス提供	<ol style="list-style-type: none"> 1 入居者一人一人の意向を尊重し、必要な介護サービスを実施する事により、安心した暮らしが送れる環境となるように努める。 <p>【高草地域包括・各居宅介護支援事業所及び、訪問介護・小規模多機能事業所と連携し、必要なサービスを実施しました。日常生活の要望等も随時対応し改善を図りました。】</p> 2 入居者との信頼関係を築く為、施設が提供するサービスや設備面に関し、意見・要望を伺う為、「和み会」を毎月実施。入居者と協議する事で、双方の理解を深めると共に、全体周知を図る。改善内容について、可能な範囲で、早期な対応を実施。 <p>【和み会を毎月1回開催し、入居者よりご意見や要望を聞いています。要望等多くはありませんが、環境面の改善や生活の質の向上につながる内容については、早急に対応すると同時に可能な限り改善しています。】</p> 3 余暇活動の推進と健康維持を図るため、入居者の方のニーズを把握し、趣味活動（カラオケ・将棋等）・レクリエーション等を実施する。 <p>【カラオケについてはコロナ5類になった後は再開しています。ただ、館内にコロナ感染が発症した場合は休止しています。その他、季節に応じたレクリエーション活動(花見・ちまき作り・螢鑑賞・七夕・夏祭・紅葉狩り・餅つき等)は感染対策をした上で実施しました。月2回の移動図書の来所は実施しています。】</p> 4 体操を実施する事により、身体機能の低下を防ぎ介護予防に努める。 <p>【体操は毎日実施しました。また自主的に施設周辺を散歩するなど生活リハビリに努めました。】</p> 5 入居者の方からの苦情・要望のご意見に対して相談に応じるとともに、適切な助言や解決となる対応を行い、心身の安定に努める。 <p>【入居者同士のトラブルに関する苦情がありましたが、相談員を中心に全職員で話し合い改善に努めました。】</p> 6 施設サービスに対して年度末に満足度調査を実施し、サービス向上を図る。

	<p>【入居者には配布、ご家族には送付でアンケートを実施しました。集計結果は、館内に掲示すると同時に、ご家族には郵送でお知らせしました。】</p>
給食(食育)	<p>1 暖の里本館にて100食調理を行い、新館へ50食を配送する。</p> <p>【直営の厨房により、ご利用者の病状・希望に応じた食事の対応が、迅速に対応できるようになりました。】</p> <p>2 食事は入居者の楽しみであり、誕生会等の行事食及び、季節感を大切にした旬な料理の提供に努める。</p> <p>【毎月、豪華な誕生会食を提供しました。また季節に応じた行事食も提供しました。さらには主菜を選んでいただくセレクト食も実施し、入居者に楽しんでいただきました。】</p> <p>3 入居者の嗜好や状態に合わせた食事提供に努め、安全に食事を食べて頂く環境作りに配慮する。</p> <p>【栄養士の栄養相談及び、入居者の嗜好を可能な限り取り入れ、個別対応を行いました。また疾病等による食事形態の対応も可能な範囲で対応しました。】</p> <p>4 嗜好調査・満足度調査を年度末に実施。翌年の献立に反映させる。</p> <p>【嗜好調査を実施しました。好評な回答が多かったですが、引き続き栄養士と厨房職員を中心とした、より満足度の高い食事提供に努めます。】</p> <p>5 給食委員会を毎月合同で実施し食事内容・要望等を協議し献立等に反映させる。</p> <p>【毎月委員会を実施しました。本館・新館・厨房の意見を基に栄養面及び味付け、盛り付け等も協議し、見た目も、味もおいしくする工夫を話し合いました。】</p>
衛生管理・環境	<p>1 囑託の寺岡医師と連携を密にし、健康診断を実施して健康管理に努め、老化防止、介護予防を推進する。このことから病気や介護の不安を解消し、安心して生活して頂けるよう努める。歯科については、往診可能な歯科医院に依頼を行う。</p> <p>【寺岡医院の寺岡医師の往診を中心に、各入居者かかりつけ医院との連携を図っています。また日中、近隣の事業所にデイサービスに通うことで、日中活動を充実し心身共に健康維持が図れるように支援しました。また歯科医院の往診希望者には、協力病院である鹿野温泉病院内の鹿野せいきょう歯科の往診を紹介しました。】</p> <p>2 健康管理に努め病気等の早期発見し、病院受診や入院等迅速・適切な対応を行う。</p> <p>【体調不良の方へ迅速な対応を行いました。日々の様子観察や、必要に応じ居室訪問を、時行い、異変の早期発見、早期治療に努めました。また入院等、大きな病院の受診が必要な方には囑託医の寺岡医師より紹介状を書いて頂き迅速に対応しました。】</p> <p>3 各感染症(インフルエンザ・ノロウイルス・コロナウイルス)に対して感染症防止体制の充実を図る。</p> <p>【感染症と思われる、体調不良者については、随時コロナ感染症の抗原検査を実施すると同時に、寺岡医院の寺岡医師に相談する等対応しました。</p> <p>インフルエンザ・コロナウイルス感染予防として、館内の共用スペースの手摺り等を消毒効果が確実なアルコール消毒で1日1回実施しました。コロナ5類以降は、面会・外出、入館は解禁をしましたが、居室までの入館は基本、禁止しています。必要な入館者(訪問看護・PT・OT等)は検温・アルコール手指消毒を実施し入館しています。インフルエンザ及びノロウイルス感染はありませんでした。】</p> <p>4 新型コロナウイルス感染症予防に努める。</p> <p>【令和5年8月に12名、令和5年11月に6名のコロナ陽性者が発症しました。館内は5類以降も、感染対策でマスク着用・消毒実施、換気など引き続き感染予防継続しています。】</p>

安全対策・事故防止	<p>1 救急救命講習会・AED講習会等を実施し、緊急時に対応できる体制にする。 【コロナ感染症対策のため、館内での講習や行事は実施しませんでした。】</p> <p>2 地震や火災等の災害を想定した避難訓練に組織全体で取り組む。年3回実施する。 【年3回の避難訓練は実施しました。速やかな避難誘導を行う事ができるように夜間想定で訓練を実施しました。内1回は地震後の避難訓練を実施しました。】</p> <p>3 非常食の備蓄により、災害等の食事提供体制を確保する。 【災害を想定して非常食の備蓄は実施しています。停電で厨房の電源供給が停止した場合、プロパンガスにより火は使用できますが、水道が使えないため今後も災害を想定した訓練や備蓄を考えていきたいと思ひます。】</p>
保護者・家族	<p>1 法人広報誌「だんのさと」(年2回)を発行し、家族の方へ送付する。 【年2回発行し、館内での行事等の写真や記事を記載し家族等に送付しました。】</p> <p>2 入居者の方の近況報告を年2回行い、面会の疎遠の方に対しても支援の連携を図る。 【コロナ5類以降は基本面会を解禁しました。また新年の便りに、入居者の元気な顔写真や近況を記載した文章を送付しています。更には、体調の変化があった時は適宜報告しました。その他、施設プラン作成時に本人、ご家族の要望をお聞きし、作成したものを送付しています。】</p> <p>3 体調不良や転倒等も含め、体調不良等の際は家族へ早急な連絡を行い、必要時は通院調整を行い情報共有を行う。 【体調不良時や転倒を発見した際は直ちに、ご家族や医療機関に連絡し対応しました。基本はご家族による通院介助ですが、県外等遠方であったり、緊急でご家族が対応できない時は、職員が救急対応で病院等に付き添う等の対応をしました。また近年は身元引受人の高齢化等で通院介助ができないケースもあり職員が通院介助をしています。業務に支障がでる場合もありました。】</p> <p>4 施設サービスに対しての満足度調査を実施し、サービス向上を図る。 【入居者・家族にアンケートを実施している。アンケート結果は、要望に対する回答も含め、館内に掲示すると共にご家族にも郵送しています。】</p>
地域との連携（地域貢献）	<p>1 法人広報誌「だんのさと」(年2回)を発行し地域・関係機関等へ送付しPRに努める。 【年2回の発行を実施しました。施設の行事等を掲載し地域に配布することで、地域住民に福祉施設の理解促進の一助としました。】</p> <p>2 地域の自治会等と連携し、防災等で協力していく。 【コロナ感染症対策のため、合同訓練等は実施しませんでした。が湖南地域の防災訓練に職員が参加しました。】</p> <p>3 施設行事等への招待、地域行事等への参加、地域ボランティア、学園、保育園との交流を図り、生活に潤いをもたせる。 【コロナウイルス感染症予防のため、地域交流に関わる行事への参加及び館内での交流は実施しませんでした。】</p> <p>4 学生の実習を受入れることで福祉貢献に寄与する。 【今年は、コロナ感染対策を実施しながら、鳥取福祉専門学校の生徒2名及び湖南学園の職場体験実習生1名を受け入れました。】</p>
経営管理	<p>1 入居率100%確保を目指す。 【入所者リストを作成し退去がある場合はスムーズに入所できるように努力しました。元々ご高齢の方の入居者が多く、転倒や疾病による病院への入院で機能低下が進行、また、疾病の重度化により退所となる方も多かったです。】</p>

経営項目	<p>2 病院地域連携室、包括支援センター等へ定期訪問と、情報交換を図りながら入居者確保に努める。</p> <p>【電話等で病院の連携室、各地域包括、各居宅介護等、他事業所と情報共有を図りながら待機者の確保に努めました。】</p>
	<p>1 職員がコスト意識を持ち、現場における節約と効果的な活用に努める。</p> <p>【照明、冷暖房の適切な運転に努めました。備品の確認も過剰な在庫とならないように点検し発注しました。しかし、物価高騰及エネルギー価格の高騰がありました。】</p> <p>2 各種機械、設備の定期点検、補修に努める。</p> <p>【外部業者による、法定の定期点検を実施していただき、設備等の異常を早期発見し、大規模修繕にならないよう適宜対応しました。】</p> <p>3 故障の早期発見、修繕を行い入居者に安心していただく。</p> <p>【老朽化に伴い故障物品が増えてきました。特にボイラー室関係の異常や厨房器機、居室のエアコンや温水器の故障の早期発見、早期対応に努めました。】</p>
	<p>職員研修の推進(施設・厨房職員)</p> <p>1 施設外(市町村、社協・老施協・経営協等)で主催される研修会に参加し、レベルアップを図る。</p> <p>【感染症研修、メンタルヘルス研修(オンライン研修)に参加することで職員の資質向上及びストレスと上手く付き合う方法を学びました。】</p> <p>2 職員の資格取得にチャレンジしていく。</p> <p>【資格取得に向けて情報提供を行いました。資格取得はありませんでした。】</p> <p>3 職員会で各種委員会、ケース検討会、研修報告会等の定期的開催。</p> <p>【毎月の職員会議時に職員研修を実施しました。併せて各委員会も開催し情報共有を図りました。また支援に配慮を必要とする方のケース検討会も実施しました。】</p> <p>4 施設長と職員の意思の疎通を図るため個々に意見交換会を実施する。</p> <p>【施設長と職員間で面談を実施しました。また随時話し合いを実施し意思疎通を図りました。】</p>
	<p>資金計画</p> <p>別紙予算書</p>

令和5年度 事業報告書

ケアハウス暖の里新館

基本理念

暖もりのある笑顔と 思いやりの心があふれる 和やかなわが家

(1) 運営方針の基本

- 温和で笑顔あふれる施設の実現
- その人らしい充実した生活の支援
- 地域との共生による福祉の実現
- 人間性豊かな福祉人材の育成
- 活力ある経営の実行

(2) 入居者の処遇・プライバシーへの配慮

①新館心得として、「笑顔とあいさつ」と「明るく楽しく」を意識して、笑顔あふれる施設の実現に努力し、ご家族や来館の方についても「笑顔」で対応し、電話対応についても、丁寧で迅速な対応を心掛けた。

②入居者の生活と人権を擁護するために、プライバシーを尊重し、公平かつ公正な開かれた施設の実現のために、入居者の方からのご意見をお聴きする「だんわ会（毎月第1土曜日）」を実施して、四季に応じた施設の行事や運営等を説明できる場の設定と入居者からの要望・苦情等のご意見を自由に発言できる場を設けた。

だんわ会には多くの入居者が参加され、職員は、意見を聞きだす立場で参加し、質問や要望等についての回答できる部分はその場で行い、検討する問題については後日職員間で話し合い、入居者用「掲示板」に質問・要望内容、回答内容を開示及び、食事前等で食堂にて説明・回答を行い周知を図っている。

また、だんわ会以外でも、日々修繕、要望意見、相談事に対して速やかに対応する様に、配慮している。

③生きがいのある生活の場としての環境作り

ア 穏やかで心豊かに暮らすためのイベントの実施。

誕生会には誕生者のテーブルに一輪挿しで生花を置き、潤いのある誕生会にする為、職員による誕生者の紹介や歌を実施し、ささやかなプレゼントやケーキを贈りお祝いを行っている。

コロナ感染対策を図りながら、希望者は買い物外出を実施し、季節によってドライブ・故郷訪問(主に墓参り)等希望に応じて実施。徐々にコロナ感染症による各自粛を緩和して、楽しみのある生活を実施した。

イ 共通の趣味・興味を通して生きがいを見出せる活動の支援の実施。

湖山池湖畔で不定期となったが、グランドゴルフ大会を実施し優勝を目指し楽しんでおられた。

また毎週火曜日午後にカラオケを実施。感染対策を図りながら不定期行事から、定期行事として実施。趣味の手芸で行事等の飾りつけや園芸の協力で玄関前に植物・

花を飾って頂いた。

④きめ細やかなサービス提供と自立の推進

身体的、精神的特性に応じた自立のための生活援助及び栄養助言として、ケアマネージャー・ヘルパー・生活相談員・介護職員・栄養士で連携を図り、自立への可能性に向けて生活支援を実施した。食事に関しては、厨房職員・栄養士を主に連携を行い、温かい食事の提供に務めている。提供内容についても嗜好調査を実施、入居者のニーズに可能な限り沿った献立により食事を提供した。

⑤第三者による施設サービス評価

第三者評価の受審は今後の検討課題であるが、今年度も入居者の施設利用アンケートを実施し、入居者からの要望・意向に対してのサービス内容の改善を図る。また家族等へアンケートも実施し要望に応じて対応した。

(3) 職員処遇の充実・士気高揚策・職員研修の実施。

①職員が楽しく働きやすい環境を作る為、個々で主体性を持ち業務に取り組む様、働きかけた。職員会議等で、課題等を話し合い疑問点の解決や不安解消を行った。

②安全と安心した生活のサービス提供をするために、各種委員会（苦情解決・事故対応・虐待・身体拘束・感染症対策・給食委員会等）及び、内部研修(事故対応・感染症対策)を定期的の実施し、事例検討や各内容について周知を図った。

③法人の施設長・管理者会議・事務担当者会議を開催し、会議内容について職員に報告し情報共有を図った。

④質の高い福祉サービスの提供を図るため、社会福祉の専門職としての専門知識の習得と技術向上を目的に各種研修に参加。また、栄養士に関しても、栄養管理等について研修に参加した。

⑤昨年同様に基本理念の実現に向けた「法人だんのさと中・長期計画」を策定し、当計画に基づいた単年度計画を策定して取組みを継続実施している。

また、安定した経営基盤を図るため、入居者確保の検討と関係機関との連携を行っている。このことにより、利用申し込みを継続的に確保している。

(4) 地域開放、貢献等

地域の方との交流を深め、共に支えあい地域社会の中で積極的な役割を担うため、次の活動を計画した。

①ケアハウス納涼祭に地域住民をご招待

湖南地区自治会、湖南地区公民館、湖南学園、湖南保育園等の参加案内を行い多くの地域住民の方々の参加と交流を深める。

②湖南地区サークル活動グループの参加もあり納涼祭も盛大に地域の方々、利用者も楽しいひとときを過ごして頂く。

③地域行事への参加

湖南地区運動会、湖南地区納涼祭、湖南地区文化祭等に参加し、交流を深める。

以上の事を計画していたが新型コロナウイルスの関係で感染防止や接触を避けるために地域との交流行事は一部参加とし、施設内行事を主に行った。

(5) 秘密保持（職員及び過去に職員であった者に対する入居者等の秘密保持の徹底）

職務上知り得た個人情報は外部へ漏洩してはならないことであり、「個人情報保護に関する誓約書」を全職員から徴取し、職員に周知を図っている。

(6) 入居者処遇に係る事故発生の対応

職員は日頃から意識して「ヒヤリハット」報告を随時職員間で話し合いを行い事故防止対策を図っている。事故発生時には速やかに事故報告を鳥取市に提出している。また年3回のリスクマネジメント委員会で報告し法人全体で防止対策を検討している。

(7) 施設の特徴、セールスポイント

- ①入居者の人権を尊重し、心豊かな生活を過ごして頂くために、明るく笑顔を絶やさず、思いやり・真心を込めて接する事で、安全で健康的な暮らしが出来るようサポートしている。
- ②清潔できれいな温泉と四季折々の食材を使用したお料理を提供しています。

令和5年度行事一覧

実施月	行事内容
4	7 県知事・県議会不在者投票、21 誕生会
5	22 誕生会、25 セレクト食
6	5・7 ホテル観賞、12 ちまき作り、20 誕生会、26 コロナワクチン6回目接種
7	7七夕飾り、14 抹茶の会、25 誕生会
8	18 夏祭り、22 誕生会
9	15 敬老会祝賀会、25 誕生会、避難訓練
10	13 抹茶の会、19 コロナワクチン7回目接種 24 結核健診 誕生会、27 監査
11	6・9 紅葉ドライブ、21 インフルエンザ予防接種、27 誕生会、
12	13 湖南学園演奏会参加、22 クリスマス会 もちつき、ゆず湯(月中)
1	29 誕生会、30 抹茶の会
2	2 節分豆まき、21 避難訓練、27 誕生会
3	3 ひな祭り、19 誕生会、19・23 県議会補欠不在者投票、28 花見弁当
その他	毎日：リハビリ体操 毎週火曜日 カラオケ(コロナの状況により実施) 毎週水曜日：訪問販売 第2・4木曜日：寺岡往診 第1土曜日だんわ会 毎金曜日：暖喫茶 1回/月誕生会

月別利用状況（毎月1日現在）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	利用率
男性	19	20	20	20	21	21	21	21	21	21	21	21	247	
女性	30	28	28	28	28	28	26	27	28	27	27	27	332	
計	49	48	48	48	49	49	47	48	49	48	48	48	579	96.5%

利用者年齢状況（令和6年3月31日現在）

	70歳未満	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	計	平均年齢
男性	3	1	5	5	2	2	2	0	20	80.8
女性	1	2	1	4	6	8	4	1	27	87.3
計	4	3	6	9	8	10	6	1	47	84.5

利用者介護度状況（令和6年3月31日現在）

	自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	
男性	7	1	6	1	2	2	1	0	
女性	5	2	5	6	8	0	1	0	
計	12	3	11	7	10	2	2	0	

※令和5年度は新型コロナウイルス5類移行となったが、年度を通して感染対策は継続。生活全般が徐々に感染症発生前の状況に戻りつつある状況となった。

しかしながら利用者・職員に若干名の感染者が発生し、早期終息を図る為、職員が一丸となって対応。以後も、マスクの使用・館内消毒・検温等を継続し、幸いにも不特定多数の感染者は発生せず、対策は継続している。

利用者の理解を頂いた上で、限定的ではあるが施設玄関の面会を再開。外出についても感染に気を付けていただき家族対応を実施。職員による対応も継続した。約3年程度、居室内での面会が実現できておらず、要望する声も多く聞かれ、次年度の課題とした。

施設内外の行事も検討したが、変更や中止もあり、計画的な実施を目指す。

研修会に於いても集合研修の参加・リモートによる参加を実施。地域との交流行事は安全を優先し積極的な参加を見合わせた。

定員数確保について、入居者の介護状況・疾病による状態変化が多く、入居されたが即退居される状況もあり、定員確保とならなかった。次年度は、入居・退居の動きにより迅速な対応や計画、営業を実施し定員確保に努める。

館内設備について、故障が多く、早急な対応を行う修繕と、代替案にて対応した内容があり入居者にご迷惑をかけた面もあった。引く続き、修繕箇所は、計画的に実施を予定する。

次年度は感染に留意し、外出等の機会(買い物やドライブ)が増え、地域や施設行事に参加する機会を多くする事が可能となれば、入居者のストレス緩和が図れると思う。

しかし、完全なコロナ終息となる可能性も低く、感染対策が継続して必要となる生活も想定される為、予防とストレス緩和について、職員で都度協議し、生活面・精神面のバランスを保つ必要があると思われま。

次年度、新館は20周年の節目を迎え、職員一同がより一層の協力をを行い、入居者へ様々なサービス提供を行う事で、安心して暮らしていただける施設を目指します。

規模多機能施設 さとに暖の里

(1) 施設の現況及び今後の対応課題等

① 安定経営に向けて

○登録者 23 名以上を維持できるよう、各関係機関等への営業を定期的に行った。

令和 6 年 3 月 31 日現在、登録者 25 名に対し 22 名で目標の達成とはならなかった。包括支援センター、医療機関ソーシャルワーカーからの利用相談は、定期的にいただけるようになり、営業の成果は上がっている。しかし、約 3 件の相談を受けても 1 件程度しかご利用に繋がっていないのが現状である。施設利用をしたいが、住まいが利用できる地域でないことや、家人は利用したいのだが、本人が希望しないケースがある。契約制度の中で、ご利用者様本人の意向が重要であるため、施設としての特色づくりが求められる。来年度は、外出の提供やボランティアの受け入れ、園芸活動など、ご利用者様のニーズに応えるべく内容を計画的に提供していく。

○ADL の低下や医療行為が必要となったご利用者様の入院等で、登録はあるが実稼働率が下がってしまう。連泊をご利用になられているご利用者様は、居室に荷物があるため、他のご利用者様はその部屋を利用できない。現在は、入院となったご利用者様の登録を約 2 ヶ月としているが、その間に他ご利用者様が利用できるように柔軟な対応・工夫が必要であった。

○令和 4 年度から介護給付費算定を行った、訪問体制強化加算については月に 200 件以上の訪問サービスが必要である。特例（コロナ感染等の静養）以外は、毎月 200 件以上を維持できた。サービス提供体制強化加算Ⅲについても、介護福祉士配置の維持ができています。

令和 6 年 4 月の介護報酬改定で、新たな基準や加算が設けられるが、条件を満たすものについては速やかに算定していく。

○令和 6 年 3 月 31 日までの経過措置であった、

・業務継続計画策定 ・高齢者虐待防止の推進 ・身体拘束等の適正化
については、予定通りに研修計画、責任者の設置、計画書や指針の整備等を行った。業務事業計画については、特に物品の定期的な見直しが必要である。

② 業務の効率化

○タブレットでの記録管理が定着し、スタッフの記録業務の時間帯と担当を明確にすることにより、ご利用者様のケアを行う時間を増やすことができた。また、記録業務の時間短縮も行えた。今後の課題としては、タブレットとパソコンの更なる連動を期待し、ワイズマンシステムにバージョンアップ等提案、働きかけをしていく。その事により、日誌や報告書の作成の効率化が見込める。

○ご利用者様の送迎については、予測されるご利用者様の利用状況に合わせて、いくつかの送迎ルートを設定した。また、乗り合わせや時間を調整した。そのことで、燃料費の削減や、時間効率が上がった。

○今年度、予定していた「業務改善提案書」提出の義務付けには至らなかった。職員会議やノートを活用して、話し合いの中で業務改善を行った。会議では発言者が決まっている傾向にあるので、来年度は「業務改善提案書」を導入し、業務効率を上げること、効率化に対する意識向上を図りたい。

③ スタッフのレベルアップ

○令和5年度は、研修計画に沿って研修を実施したが、計画通りに全ての研修実施はできなかった。施設内では、虐待に関すること、リスクマネジメント、認知研修を行い、職員の知識・スキルが向上した。

○県や市からの研修案内は全て回覧し、個別に研修参加して、自己啓発に繋がった。各業務担当者に、虐待研修やメンタルヘルス研修等のオンライン研修を実施した。園内研修にて復命講習を行った。

○資格の取得等

- ・介護福祉士受験合格者…1名
- ・認知症介護基礎研修…1名
- ・認知症対応型サービス企業管理者研修…1名

④ 職員の配置について

○令和5年4月1日開始時の、夜勤専門職員の配置は2名であったが退職され、夜勤専門を廃止した。配置基準は満たしてはいるものの、常勤者の夜勤回数が多くなったことで、日中のサービスの質が低下した。また、パート職員の入浴や調理業務の担当回数が多くなったことで、心身への負担、退職に繋がらないか懸念される。

○随時、ハローワークなどの求人を行っているが、なかなか応募がない現状にある。新たな取り組みとして、令和6年3月17日（日）に開催された「福祉の就職フェア&ガイダンスとっとり 2024 春」に法人として参加し、新職員の獲得を目指した。来年度も、このような機会には積極的に参加し、また他の企業ともコミュニケーションを取り、情報を仕入れ人材確保に繋がっていきたい。

(2) 主な行事

※別紙添付 令和5年度行事実施報告

(3) 年度末の利用状況

①入居者（利用者）定員： 25 登録者数： 22

	70歳未満	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳以上	計	平均年齢
男性	2	0	2	1	0	1	0	0	6	75.5歳
女性	1	1	1	4	1	7	1	0	16	85.7歳
計	3	1	3	5	1	8	1	0	22	82.9歳

②入居者（利用者）介護度状況

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均介護度
男性	2	0	0	0	4	0	0	6	2.1
女性	0	1	2	5	2	6	0	16	2.7
計	2	1	2	5	6	6	0	22	2.5

③月別利用状況

ア（さとに 通所）【延べ利用者数】

月	稼働日数	計	1日平均	利用率
4月	30	301	10.0	66.9%
5月	31	312	10.1	67.1%
6月	30	308	10.3	68.4%
7月	31	309	10.0	66.5%
8月	31	308	9.9	66.2%
9月	30	333	11.1	74.0%
10月	31	348	11.2	74.8%
11月	30	334	11.1	74.2%
12月	31	382	12.3	82.2%
1月	31	356	11.5	76.5%
2月	29	346	11.9	79.5%
3月	31	359	11.6	77.2%
計	366	3,996	10.9	72.8%

イ (さとに 宿泊) 【延べ利用者数】

月	稼働日数	計	1日平均	利用率
4月	30	142	4.7	52.6%
5月	31	131	4.2	47.0%
6月	30	130	4.3	48.1%
7月	31	129	4.2	46.2%
8月	31	131	4.2	47.0%
9月	30	156	5.2	57.8%
10月	31	159	5.1	57.0%
11月	30	151	5.0	56.0%
12月	31	182	5.9	65.2%
1月	31	186	6.0	66.7%
2月	29	159	5.5	61.0%
3月	31	186	3.0	66.7%
計	366	1,842	4.8	55.9%

ウ (さとに ヘルパー) 【延べ利用時間数】

月	営業日数	件数	1日平均
4月	30	249	8.3
5月	31	265	8.5
6月	30	254	8.5
7月	31	260	8.4
8月	31	198	6.4
9月	30	213	7.1
10月	31	232	7.5
11月	30	233	7.8
12月	31	286	9.2
1月	31	274	8.8
2月	29	231	8.0
3月	31	219	7.1
計	366	2,864	8.0

令和5年度 年間行事報告

月	行事内容
4月	誕生会：4月26日 お花見ドライブ：4月3日～4月9日
5月	誕生会：5月2日、5月15日、5月30日 子供の日行事（工作作り）：5月5日 ドライブ：5月8日～5月14日
6月	誕生会：6月10日 調理レク（どら焼き作り）：6月16日 さとに喫茶：6月28日
7月	七夕祭り行事：7月7日
8月	誕生会：8月12日 納涼祭：8月9日
9月	誕生会：9月28日 敬老会：9月18日 ※ボランティア受け入れ
10月	誕生会：10月6日、10月16日、10月19日 調理レク（干し柿づくり）：10月25日 りんご狩り外出（八東フルーツ観光園）：10月30日 松保展示会：10月28日

11月	誕生会：11月7日、11月23日 調理レク（焼き鳥づくり）：11月16日
12月	クリスマス会&忘年会：12月26日
1月	さとに喫茶：1月31日 新年行事：1月1日から1月3日
2月	誕生会：2月11日 節分行事：2月3日 バレンタイン行事（チョコづくり）：2月14日
3月	誕生会：3月21日 ひな祭り行事：3月3日

令和5年度事業報告書

デイサービスセンター暖の里

基本理念

- ・暖もりのある笑顔と思いやりの心があふれる和やかなわが家

基本方針

- ・温和で笑顔あふれる施設の実現
- ・その人らしい充実した生活の支援
- ・地域との共生による福祉の実現
- ・人間性豊かな福祉人材の育成
- ・活力ある経営の実行

① 利用者の状況（令和5年度）

*利用状況は全体的には入院からケアハウスの退居、デイの利用登録も終了という方もあり、入院による利用者数の減少が大きかった一年となりました。

*コロナウィルス感染はありましたが、個々の対応で大きな影響はなかったです。

*秋口から地域の方も含め、複数名の入院者が重なり退院を待った後半でした。

*総利用者数も4年2,033人 5年2,086人と53人の増加ではありました。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者登録数	21	23	24	24	24	23	23	26	25	24	23	24
総数	170	209	196	181	195	159	186	185	154	145	148	158
%	85	91	89	86	85	76	85	84	73	73	70	75
支援1							1人	2人	1人	1人		1人
支援2	2人	3人	4人	4人	4人	4人	4人	4人	4人	3人	3人	3人
介護1	9人	9人	9人	9人	9人	8人	8人	10人	10人	10人	9人	9人
介護2	7人	7人	7人	6人	6人	7人	6人	6人	6人	7人	8人	8人
介護3	2人	3人	3人	4人	3人	3人	3人	3人	3人	2人	2人	2人
介護4	1人	1人	1人	1人	2人	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人

② 行事一覧

*年間を通してデイ喫茶を実施し職員と一緒に楽しんで頂いています。

*なるべく込み合わない場所・新しい場所など、ドライブを行い気分転換を図りました。

*マスクの着用は声かけ・励行し、徐々にレク・行事等で意欲の高揚を工夫しました。

*日々のサービス

毎月の展示物の作成	
季節の塗り絵	
言葉探しクイズ	
カレンダー作成	
計算問題	
月の歌	パズル
カラオケ	オセロゲーム

リハビリ体操	屋外の散歩
下肢体操	
リズム体操	
北国の春体操	
レクレーション	
	(直接接触の少ないもの)
ペタルこぎ	

令和5年 事業報告 ホームヘルプステーション暖の里

(1) 月別利用状況 (述べ時間数、件数、平均利用回数)

月	日数	訪問介護		総合事業		合計		平均 介護度
		件数、時間	利用回数	件数、時間	利用回数	件数、時間	利用回数	
4月	30	647	14	99	7	746	21	1.5
5月	31	668	14.8	94	6.7	762	21.5	1.5
6月	30	608	14.1	89	6.8	697	20.9	1.5
7月	31	637	15.2	99	6.6	736	21.8	1.5
8月	31	650	14.8	107	7.1	757	21.9	1.5
9月	30	611	14.5	105	7	716	21.5	1.5
10月	31	647	14.4	106	7.1	753	21.5	1.5
11月	30	606	13.2	102	7.3	708	20.5	1.5
12月	31	535	12.7	103	7.4	638	20.1	1.5
1月	31	532	13.3	99	7.6	631	20.9	1.5
2月	29	474	12.5	92	6.6	566	19.1	1.5
3月	31	514	13.9	106	6.6	620	20.5	1.5

(2) 職員研修

外部研修は西村ヘルパー、澤井ヘルパー、網師しか参加出来ませんでした。内部研修は全員に行い、当日参加できない職員には後日サ責が研修を行いました。

(3) 総括

ケアハウスの方の退去、施設移動により、利用者数が減り、60名を維持出来ない月がほとんどだった。外部の方も1名から3名で(内1名はケアハウス入居、1名は入院中)と少数だった。

令和6年4月より介護報酬の改定があり、訪問介護の利用料の引き下げ、同一建物減算の減算率のアップにより、今後減収が見込まれる。

令和6年度は新規加算を取得、利用者数の増加を目指して取り組んでいきたい。

令和5年度 事業報告書

居宅介護支援センター暖の里

令和6年5月15日

①月別利用状況（居宅支援）【延べ利用件数】

介護度等 月	要支援			要介護						計	認定 調査
	1	2	小計	1	2	3	4	5	小計		
4月	1	4	5	1	1	0	0	0	2	7	1
5月	2	5	7	1	5	1	0	0	7	14	4
6月	4	5	9	2	2	1	1	0	6	15	4
7月	4	5	9	2	1	2	2	0	7	16	4
8月	3	6	9	2	2	2	1	0	7	16	5
9月	3	6	9	2	3	4	2	0	11	20	5
10月	5	6	11	3	3	4	2	1	13	24	7
11月	5	5	10	4	3	3	2	1	13	23	2
12月	7	4	11	6	3	3	2	1	15	26	3
1月	6	4	10	6	3	2	2	1	14	24	3
2月	7	4	11	6	3	3	2	1	15	26	1
3月	7	4	11	6	3	1	2	1	13	24	5
計	54	58	112	41	32	26	18	6	123	235	44

●要支援1に事業対象者含む

令和4年5月～令和5年2月まで居宅休止となっていたが、令和5年3月1日より再開となった。
高草包括やケアハウスからの新規入居者の依頼で件数は微増しているが、現在の目標である45件
までは達していない。令和6年度開始になっているが、目標件数をクリアーするため努力してい
きたい。

